

●活動の内容(詳細)

四日市公害の教訓や経験を現在の環境課題の解決に活かす、きっかけを作る。例) 政策提言(情報発信)や環境教育、自然観察調査、協働事業の実施



鈴鹿川河口で行った自然調査

環境意識の啓発を目的とする情報発信(冊子作成、SNS) 四日市の自然を映像で紹介



四日市市内や三重県の自然を映像紹介する試み。ブログ、facebookでも配信中

活動の事例

工場地帯の自然に触れよう

自然調査観察体験

5月22日(日)



自然調査観察体験2016

時間：10時～12時半 ※集合は、9時50分
 場所：鈴鹿川の河口右岸から左岸（磯汗海岸側）
 参加：無料
 内容：カニや干潟の生き物の観察、調査方法を学ぶ
 講師：神戸動植物園・福原中門学校
 上野淳一様（カニの専門家）
 対象：カニや干潟の知識を深めたい方
 夏休みの自由研究で干潟を検討されている方
 定員：20名 ※残り10名程度
 持物：長靴or濡れても良い靴、サンダル禁止
 バケツ、スコップ、
 水分（お茶、スポーツ飲料）、帽子

講座内容の紹介

干潟の生き物をつかまえたり、観察しながら河口を歩いて観察していきます。カニ以外にも蟹や魚も見られます。



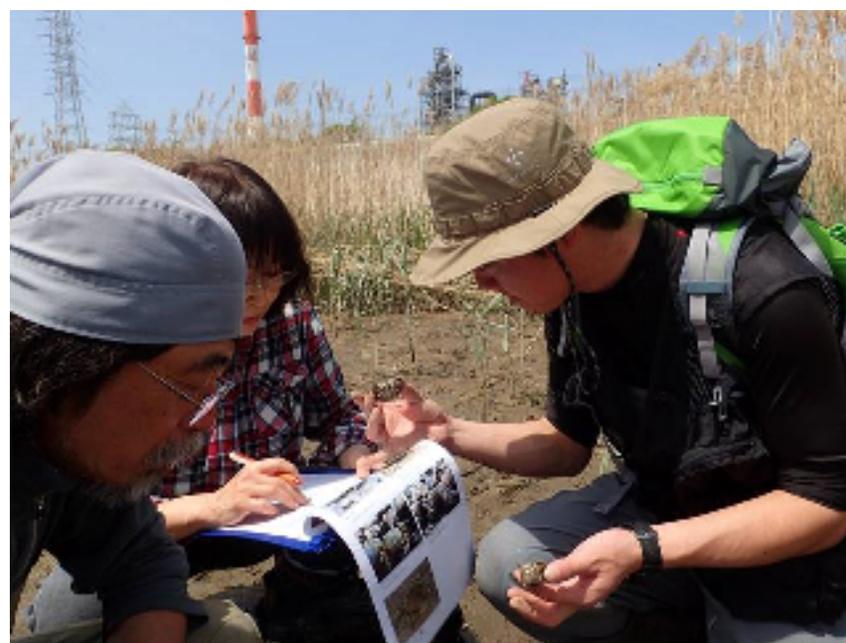
右のQRコードを読み取り、お申し込みの4月に行われる自然観察会の申し込みが完了します。



《申込み方法》

自然保護課 05-3427270@gmail.comへメールを送って下さい。
 申し込み者氏名、年齢※参加される方全員の氏名前
 名を明記。

※イベント中止の場合は、事前のメールにてお知らせいたします。前日の実情によっては、中止となる場合があります。



活動の事例

「なたね通信」

四日市公害を経験して「今」
四日市の自然環境を紹介！！facebookもあるよ！！

📖 ブログトップ

📄 記事一覧

📷 画像一覧

このブログを検索する



次ページ >



四日市ドーム 周辺でバードウォッチング

2016年11月29日(火)

テーマ: 活動日誌

😊 1



四日市ドーム 周辺でバードウォッチング

2016年11月28日(月)

テーマ: 活動日誌

😊 4

プロフィール



natane tsushin

📖 読者になる

最新の記事

四日市ドーム 周辺でバードウォッチング

四日市ドーム 周辺でバードウォッチング

インヒヨドリ 海蔵川河口付近

ハジロカイツブリ 海蔵川河口

講座のご案内 募集中！！

2016/12/21

●受賞者の概要

団体名称	なたね通信
代表	榊枝正史
これまでの活動経歴	<ul style="list-style-type: none">・平成21年1月 情報誌なたね通信発行活動開始・平成26年から工場地帯の自然観察調査を開始 中部ESD拠点協議会連携講座、立命館大学、三重大学 等で講義実施・平成27年より自然環境を映像で紹介する試みを開始。・平成28年より三重県と共催で、鈴鹿川、海蔵川で自然観察調査体験会を開始
主な活動場所	<ul style="list-style-type: none">・四日市市内の各河川河口付近・市内の河川中流域、桜西部の里山
活動の頻度	・月に3回～4回
活動体制	・10名
参加人数	・講座開催時→30名～40名 観察会開催時→25名程度
連絡先	〒510-0837 四日市市西松本町23-6 メール:da34227@gmail.com 榊枝まで ※日中は、仕事をしている為、連絡が遅くなる場合があります。

● 経歴(概要)

- ・平成21年 1月 活動開始 情報誌なたね通信発行
 - ・平成24年 6月 四日市の海の環境を伝える講座開催 協力:野田之一氏
 - ・平成25年 6月 国際環境技術移転センター依頼インドネシア環境庁職員研修講師
 - ・平成26年 1月 中部ESD連携 工場地帯の自然観察実施
 - ・平成25年 4月 鈴鹿川河口の生き物観察会開始
 - ・平成26年 6月 三重大学四日市学講義で1コマ講義 四日市の海 や干潟などの自然環境を伝える。
 - ・平成26年10月 三滝川、海蔵川、鹿化川自然マップ作成、公開
 - ・平成27年12月 三重生物研究会主催 鈴鹿川河口野鳥観察会講師
 - ・平成28年 2月 三重県環境学習情報センター常設展示コーナー 工場地帯の野鳥たちを映像で紹介
 - ・平成28年 4月 地帯の干潟でカニの調査を開始
- <活動期間(7年 4月1日現在: 7 年 3か月)>

● 今後の予定

- ①学校との協働事業 自然環境の継続
- ②観光と環境を結び付けた連携講座の企画
- ③映像を使った自然環境、生物多様性の普及啓発、
- ④工場地帯の自然マップの作成
- ⑤環境特設サイトの設置



**観光と環境の
連携**